

臨床工学部

1. スタッフ構成

- 岡本 賢二郎(腎糖尿病センター長、臨床工学部長)
- 鶴本 創(総務医事課主幹);臨床工学部次長
- 久枝 正実(担当係長)
<透析室係>
 - 鍋谷 里奈、谷口 亞弓、河野 大輝、桑尾 芽依、西村 彩香、
金谷 有花、秋田 源輝
- <手術部・ICU 係>
 - 西田 美穂、益田 夏季、湯岑 葵、築山 信哉、清水 夢奈、
羽藤 琢登
- <心臓カテーテル室係>
 - 一色 翼、天野 雄司、大久保 祐紀、河野 洋輝、村上 莉沙、
坂東 利紗、真鍋 涼
- 会計年度任用職員:3名
- CE 補助スタッフ:5名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
医療機器センター透析技術認定士	西田美穂、谷口亞弓、 鍋谷里奈
日本体外循環技術医学会体外循環技術認定士	久枝正実、天野雄司、 西田美穂、一色翼
医療機器センター3学会合同呼吸療法認定士	天野雄司、河野洋輝、 湯岑葵
日本麻酔科学会周術期管理チーム認定臨床工学技士	天野雄司
日本心血管インターベンション治療学会ITE心血管インターベンション技師	一色翼、河野洋輝
透析技能検定1級	谷口亞弓
日本不整脈心電学会心電図検定1級	一色翼
日本不整脈心電学会心電図検定2級	大久保祐紀、河野大輝
日本科学技術連盟QCサークル指導士	天野雄司
日本不整脈心電学会植込み型心臓不整脈デバイス認定士	一色翼、村上莉沙

3. 運営方針

- (1) 業務を安全・確実に行う
生命維持管理装置の操作および保守点検を確実に行い、専門技術者であることを認識し、最善の努力を払って業務を遂行します。
- (2) 医療機器管理業務を充実させる
医療機器の中央管理業務を推進し、保守管理業務を行い、故障時に迅速な対応をするために、院内で補修できるように努めます。
- (3) チーム医療に積極的に参加する
医師をはじめ看護師、その他の医療関係職種と緊密に連携し、医療チームの一員として、質の高い医療を確保することに努めます。

(4) 院内外への情報発信と教育を充実させる

ホームページコンテンツを充実させ、医療機器に必要な情報を発信するとともに、定期的に研修会を開催・受講し、スキルアップを図ります。

4. 実績

(1) 医療機器管理業務

- 2023年2・5月、CE補助スタッフにて四半期毎の電動ベッド修理データ集計の報告および使用上の注意喚起を看護長会で実施しました。
- 2023年9月、全部署対象に輸液ポンプ(IP-100D)の運用を開始しました。
- 2023年11月、手術室にて除細動器(Efficia DFM100)の運用を開始しました。

■ 各機器保守点検台数

	技士保守 点検台数	メーカー保守 点検台数
輸液ポンプ	15,707	0
シリソージポンプ	9,309	0
人工呼吸器	822	35
除細動器	141	0
低圧持続吸引器	718	0
IABP	36	5
電気メス	28	0
PCPS	27	0
ドリップアイ	2,439	0
フットポンプ	81	0

■ 中央管理機器保有台数

中央管理機器	台数
輸液ポンプ	523
低圧持続吸引器	36
シリソージポンプ	439
経腸栄養ポンプ	11
ドリップアイ	55
フットポンプ	128

■ 中央管理機器貸出および返却回数

- 貸出:30,504回
- 返却:30,075回

■ 講習会・研修会

- 新人看護師研修講師:1回
- 研修医研修講師:1回
- 医療安全トピックス研修会:1回
- 院内医療機器取扱説明会開催:8回

(2) 手術室業務

麻酔器に設置されている生体情報モニターが更新されました。
脳神経外科、耳鼻咽喉科手術、整形外科手術に使用される手

術ナビゲーション手術業務、手術支援ロボット業務、心臓血管外科手術業務、TAVI 業務が前年度より増加しました。

■ 手術室対応業務件数

手術室業務	2022	2023
ナビゲーション業務	214	230
手術支援ロボット業務	201	398
自己血回収装置操作業務	34	24
神経モニタリング(脳外・整形)	145	110
TAVI(経皮の大動脈弁置換術)	86	111

■ 心臓血管外科手術業務件数

人工心肺関連業務	2022	2023
人工心肺手術総数	128	137
うち緊急手術	45	32
Off-Pump CABG	29	41

(3) 心臓カテーテル室業務

衝撃波血管内碎石装置が導入されました。

■ 心臓カテーテル室対応件数

心臓カテーテル室業務	2022	2023
心臓カテーテル室対応総件数	1,223	1,054
うちPCI	312	337
うちデバイス挿入・交換	130	109
うちリード抜去	5	2
うちアブレーション業務	174	182
うち頸動脈ステント留置術(CAS)	5	11
うちPTA	53	71
ペースメーカー外来	1,046	937
遠隔モニタリング	387	412

(4) 透析室、ICU における血液浄化関連業務

透析室業務:透析用水水質検査(1回/週)

■ 血液浄化関連業務件数

治療法	2022	2023
CHDF	122	159
HD	4,158	3,228
On Line HDF	9,972	9,100
PE	78	36
DFPP	12	11
PMX	2	2
腹水濾過濃縮	2	4
GCAP	15	19
末梢血幹細胞採取	16	19
骨髄濃縮	0	2
レオカーナ	0	44

■ 研修会・講習会開催

開催日	内容	対象	参加
4月6日	1年次研修医オリエンテーション	研修医	22名
6月23日	成人用人工呼吸器勉強会	NICU	17名
7月13日	新規採用看護職員研修	新規採用看護師	46名
8月14日	新規採用輸液ポンプ勉強会	全部署看護師	3名
8月17日	新規採用輸液ポンプ勉強会	全部署看護師	9名

8月21日	新規採用輸液ポンプ勉強会	全部署看護師	12名
8月23日	ネーザルハイフロー勉強会	12階西病棟	19名
9月5日	医療安全トピックス研修会	全職員	46名
10月18日	新規採用除細動器勉強会	手術室	16名
11月2日	新規採用除細動器勉強会	手術室	14名
11月7日	新規採用除細動器勉強会	手術室	14名

5. 2024 年度目標

- (1) 医療機器の取り扱いを安全・確実に行います。
 - ・ 方法:定期的な研修会・勉強会を開催します。年度初めに研修会・勉強会スケジュールを作成します。
 - ・ 対象者:臨床工学技士、看護師、医師、病院スタッフ
- (2) 業務の手技・運用方法の効率化を検討します。
 - ・ 方法:手技および運用方法を再検討し、業務の効率化を図ります。
- (3) 医師・看護師業務のタスクシフト/シェアを検討します。
 - ・ 方法:運営委員会や検討会等で協議していきます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 一色翼. 劇症型心筋炎に対して、ECPELLA 管理へNO吸入療法を併用した1例. 第34回日本体外循環技術医学会四国地方会大会. 高知(2023.7.1)
2. 一色翼. 臨床工学部における早出業務の削減について. 第59回愛媛県立病院学会. 松山(2023.11.11)
3. 河野大輝. 末梢血幹細胞採取施行後、CD34陽性細胞採取量が低値であった症例の報告. 第59回愛媛県立病院学会. 松山(2023.11.11)
4. 桑尾芽依. レオカーナ®を用いた吸着式潰瘍治療法の導入経験について. 第59回愛媛県立病院学会. 松山(2023.11.11)